

*** 記事 ***

消息

“シーボルトの足跡を辿る旅”

ドイツ各地で歓迎をうける

中西 淳朗

本学会会員の星和夫氏（市立青梅病院名誉院長）がコッ
ディネーターとなり、全国公私病院連盟企画・JTB企画実
施の“シーボルトの足跡を辿る旅”は、二〇〇六年一月三
日より同一二日まで九泊一〇日で実施された。

この旅はオランダのライデンからドイツのミュンヘンまで
ライン河沿いに、シーボルトゆかりの地をたずねるバスの旅
で、本学会員の八名が参加した。以下、日程とスケジュール
（順不同）について略記して参考に供することとした。全参
加者一九名。

第一日 成田発 フランクフルト経由ライデンへ。ライデ
ン泊。

第二日 ライデン市内観光（ブルハーフェ銅像、ライデ
ン大学構内）、デン・ハーグ市（国際司法・仲裁両裁判所、
マウリッツハイツ美術館）、ライデンにもどって（シーボル
ト通り、出島通り、シーボルトハウス、国立民俗博物館等）、

ライデン泊。

第三日 ライデン市内見学（ブルハーフェ自然科学史博
物館、ライデン大学植物園、聖ピータース教会他）。ケルン
泊。

第四日 ケルン市内（聖ペトロ大聖堂周辺）から、ボツパ
ルトへ（市役所表敬訪問、歓迎パーティー後、青梅公園、シ
ーボルトゆかりのマルチン修道院跡の見学、ライン河岸散策
等）。リユーデスハイム泊。

第五日 シュタイナウ（グリム兄弟の幼年時代の家）から、
エルム近郊のブランデンシュタイン城へ（ツェッペリン伯爵
家訪問。同伯の歓迎演説後、シーボルト資料館見学、意見交
換の後、記念撮影）。ローテンブルグ泊。

第六日 ローテンブルグ市内観光後、ヴェルツブルグへ。
シーボルトの生家（博物館館長の講義を受ける）、レントゲ
ン記念館見学後、大学構内のシーボルト胸像見学。ローテン
ブルグ泊。

第七日 ワレンシュタイン（街道内に立つ三位一体のバス
ト塔見学）からミュンヘンへ。シーボルト墓に参詣し、レン
トゲンの旧住宅、国立劇場等を見学し新市役所周辺でショッ
ピング。夜はホーフフロイデビアパーティー。ミュンヘン
泊。

第八日 フュッセン観光（ノイシュヴァンシュタイン城、
ホーエンシュバンガウ城とルードヴィヒ二世の精神異常学
習）グループと、インゴールシュタット観光（ミュンヘン大

学誕生の故地、ドイツ医学史博物館の見学)グループに分かれる。夜、新市役所地下ピアホールでお別れパーティー。ミュンヘン泊。

第九日 希望者はドイツ博物館見学、午後ミュンヘン発しHで成田へ。機内泊。

第一〇日 午前一二時二〇分成田着。

なお右の概略については参加者の行天良雄氏(医事評論家)が一月二五日NHKラジオ第一放送で八時より十五分間報告した。

例会記録

一月例会

平成十九年一月二十七日(土)

順天堂大学医学部十号館二階カンファレンスルーム

一、奨進医学会の人びと

岡田靖雄

二、最近二十年の中国における医学文化史研究

朱建平(通訳) 真柳誠

三月例会

平成十九年三月二十四日(土)

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、杉山真伝流の新資料

大浦宏勝

二、日本医史学会的パソコン環境の設定

―データ資料の構築と検索

小林健二

五月例会

平成十九年五月二十六日(土)

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

池田文書シンポジウム

一、池田文書のドイツ留学生の手紙

酒井シツ

二、「池田文書」の葉について

遠藤正治

三、池田家の人々

斎藤美栄子

四、池田多仲の「備忘録」について

岩崎鐵志